

第4回 砧地区公共交通協議会 令和元年12月6日

1. 関係機関との協議結果

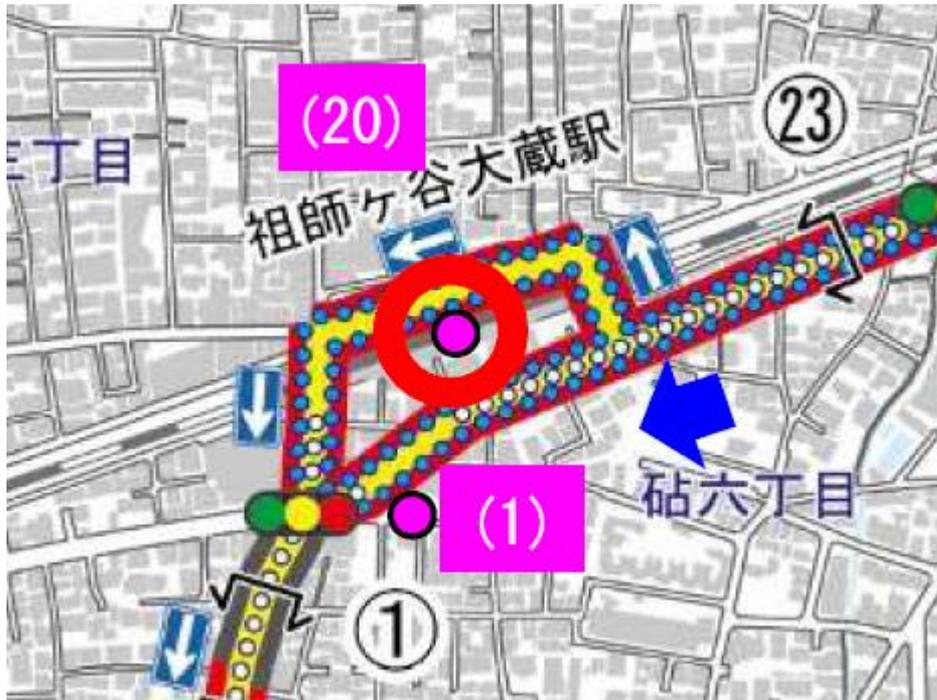
関係機関との協議

協議日時

協議先	日時	主な内容
警視庁	令和元年7月11日（木）	<ul style="list-style-type: none"> 砧地区の運行ルート等について
	令和元年9月25日（水）	<ul style="list-style-type: none"> 下校時間帯を考慮した運行時間について 祖師ヶ谷大蔵駅北側ルートについて
成城警察	令和元年9月9日（月）	<ul style="list-style-type: none"> 砧地区の運行ルート等について
東京タクシーセンター	令和元年10月10日（木）	<ul style="list-style-type: none"> 祖師ヶ谷大蔵駅北側のタクシー乗り場の活用について
警視庁 ・ 成城警察	令和元年11月13日（木）	<p>【実査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行シュミレーション（運行ルート（案）） バス停候補地の現場確認

関係機関との協議①(北側バス停について)

● 駅北側バス停候補地 (20) について



(想定写真①)



(想定写真②)

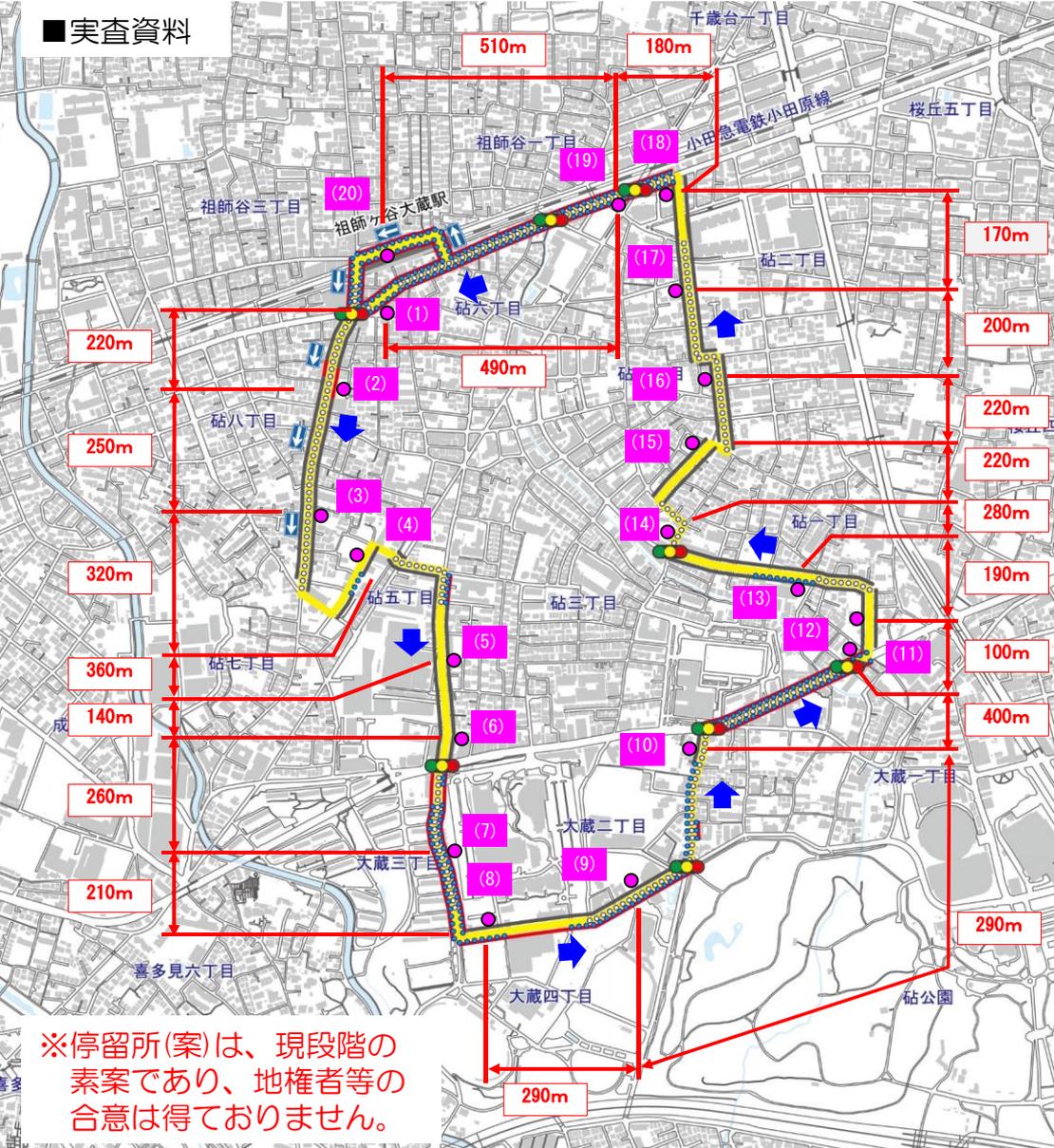


【協議結果】

- 停留所の設置に向けて、タクシー乗り場の稼働率等を考慮しつつ、東京タクシーセンターと協議をしていく。
- 今後の駅前広場整備と合わせて関係所管と調整していく。

関係機関との協議②(運行ルート・停留所実査)

■実査資料



運行概要 (案)	
運行時間帯	案① 8時30分～19時台 案② 8時30分～17時台 (14時30分～16時は運行休止)
ルート延長	4.9km
運行便数	案① 15便/日 (約36分間隔) 案② 13便/日
運行形態	片回り循環 (反時計回り)
備考	運行計画は今後の検討により 変更となる可能性があります。

想定車両



全長×全幅×全高
5,080×1,695×2,285(10人乗り)

- 運行ルート
- 歩車道の分離
 - 緑石 (歩道あり)
 - 防護柵・植樹
 - 白線 (路側帯)
- 規制・指定等
 - ← 一方通行規制
 - 通学路指定
 - 信号機

※停留所(案)は、現段階の素案であり、地権者等の合意は得ておりません。

関係機関との協議③(運行ルート・停留所実査結果)

【実査結果】

■運行ルート（案）について

想定車両規模であれば、走行可能な環境。

交通量等を鑑み、祖師ヶ谷大蔵駅北側ルートでも支障ないと判断。

■バス停候補地（案）について

一部候補地を残して概ね了承。

今後、バス停前の地権者（対面側車庫有の地権者にも）と調整を図ること。

【課題のあるバス停候補地】

バス停候補地（4）

→安全にバス待ちができるように工夫が必要。

関係機関との協議(交通安全対策)④

●対策案1 (ハード面)

対象箇所	対策案	対策イメージ	対象箇所	対策イメージ	対策イメージ
通学路	①路面標示及び外側線等の設置検討		運行車両	⑤車両へのLED表示板の設置	 <p>【表示例】</p> <p>乗降中</p> <p>通学路通行中</p>
	②通学路標識(電柱)の設置				
車両制限令抵触区間	③乗務員の運転マニュアルの作成	※対策案2参照	<h2>●対策案2 (ソフト面)</h2> <p>運行ルート上の具体的な注意箇所及びその通行方法や、車両すれ違い方法等を盛り込んだ運転マニュアルを作成し、安全運転を徹底する。</p>		
	④カーブミラーの設置				

2. 新たな公共交通不便地域対策の方向性

新たな公共交通不便地域対策の方向性①

重点検討地域

■概要

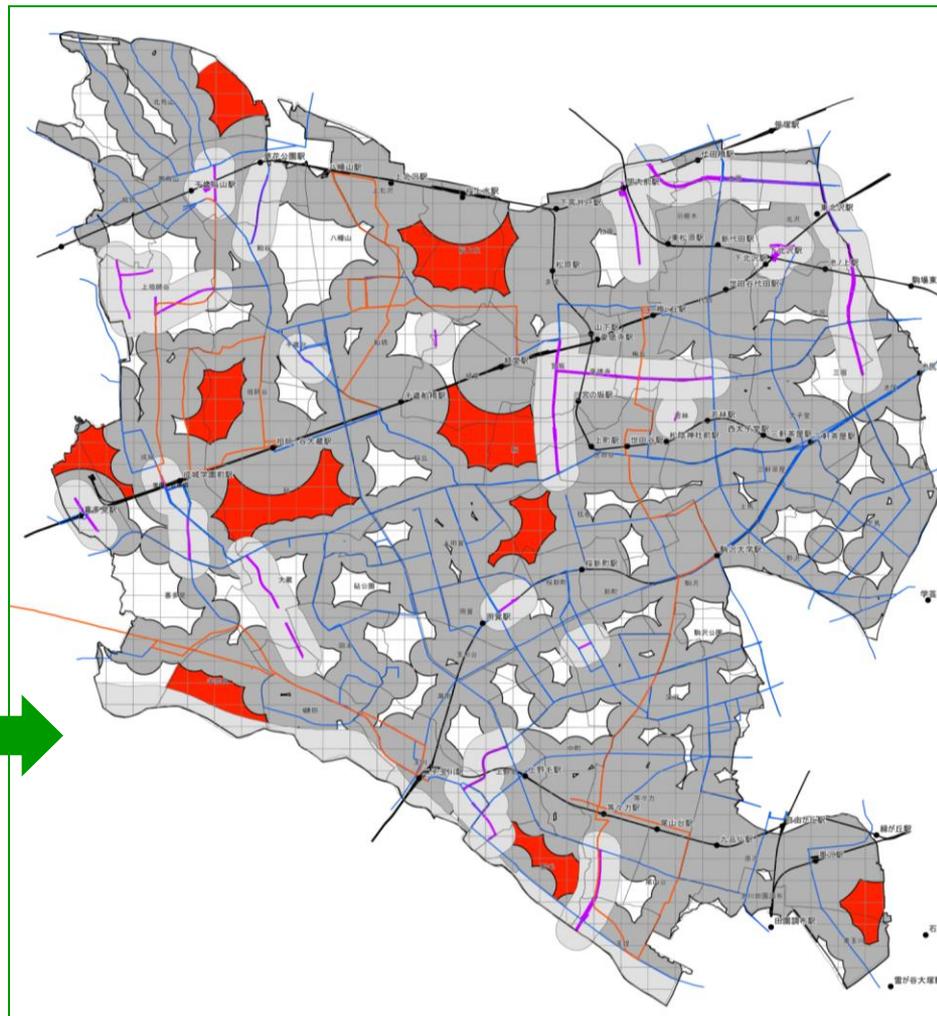
今後見込まれる超高齢社会や単身高齢者の増加等を踏まえ、住み慣れた地域で自立して暮らし続けられるよう、公共交通不便地域から重点検討地域（10地区）を設定し、公費負担による新たな公共交通不便地域対策の導入を検討する。

■効果

住み慣れた地域で自立して暮らし続けられるよう、買い物等の生活支援や外出機会を確保

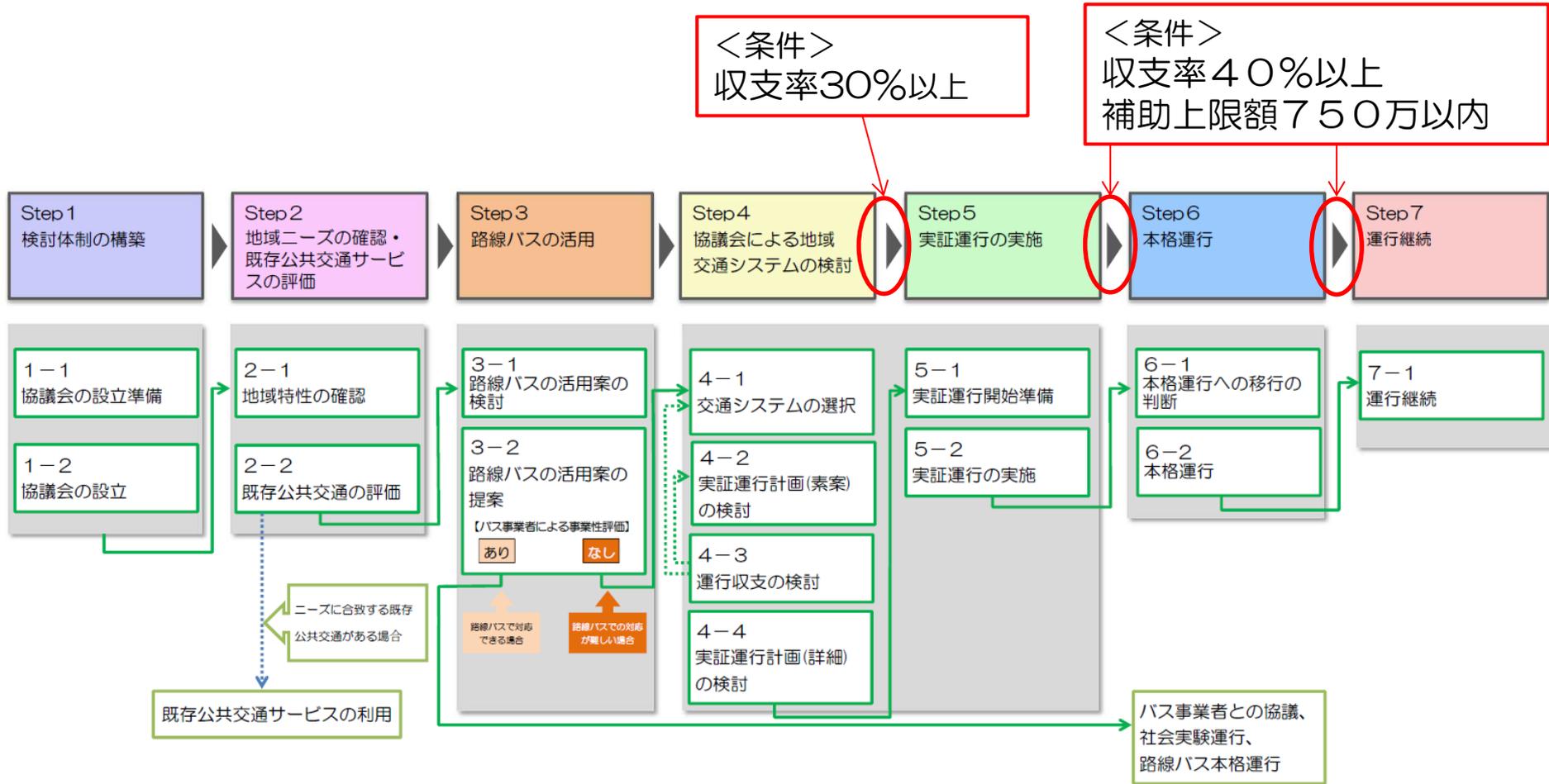
■重点検討地域の設定にあたっての評価指標

- ①後期高齢者人口
- ②地理的条件
- ③施設圏域



新たな公共交通不便地域対策の方向性②

※Stepイメージ図



※新たなコミュニティ交通の導入については、上図のステップイメージを踏む。
※上図2点以外の諸条件を引き続き検討していく。

3. 今後について

今後について



令和元年度

運行ルート・サービス(案)の確認

バス停(案)の地先交渉

運行ダイヤ(案)の検討

令和2年度以降

需要予測アンケート・収支予測

運行ルート・バス停・ダイヤの決定

地域公共交通会議での合意

実証運行の実施